

## 会議要録

会議の名称	平成26年度 第1回文化財保護委員会
日時	平成26年7月29日(火) 14:00~15:00
場所	和光市役所 3階 全員協議協議会室
出席者 ※敬称略	【文化財保護委員】10名の委員のうち8名が出席 田中 明、副島元子、富岡 進、矢崎康彦、後藤友子、小田部玲子、森 朋久、 関口泰典 【事務局】 (教育長) 大久保昭男、(教育部長) 上篠乙夫、(次長兼生涯学習課長) 富岡敏光、 (生涯学習課主幹兼課長補佐) 亀井義和、(生涯学習課副主幹兼文化財保護担当 統括主査) 鈴木一郎、(文化財保護担当) 岸 勝己、(文化財保護担当) 中岡貴裕
傍聴者	0名

### 1 開会

### 2 教育長あいさつ

先ごろ行われた那須烏山市との里山農業体験教室、400年の歴史を持つ重要無形民俗文化財・山あげ祭りについて

### 3 文化財保護委員会について

○事務局

市民参加条例第12条第4項の規定による会議公開及び要点記録による会議録の公開について説明。会議資料確認。

### 4

#### 協議・報告

#### (1) 平成25年度事業報告

○事務局より資料説明

##### 【平成25年度事業報告】

- ・ 1 埋蔵文化財調査の確認調査(試掘)は30件、本発掘調査8地点実施。  
1件は教育委員会の発掘調査(その他7件は民間の負担による発掘調査)
- ・ 2 発掘現場見学会を開催。その中で、越之上遺跡第2次発掘調査は、白子DIKマンションのそばの発掘調査で、集石土坑です。
- ・ 3 新倉ふるさと民家園の管理運営を、和光市古民家愛好会に委託。平成25年度来園者数は、12,554名、開園後の来園者総数は延べ114,099名。
- ・ 4 4月1日に和光市デジタルミュージアム管理運営。17,439カウントの閲覧者数。開設からの累計32,510カウント(平成26年3月31現在)
- ・ 5 午王山遺跡 来園者数3,253名、記念講演会120名、開設講座53名
- ・ 6 「午王山ジオラマ作成」、5組参加
- ・ 7 調査報告書17として作成。

- ・ 8 「白子嚙子入門講座」開催。白子嚙子保存会との共催。10回、参加者10名。
- ・ 9 文化財パトロールを随時実施。
- ・ 10 埋蔵文化財調査報告書作成、「市場刷峽、市場上遺跡（第13次）」「城山遺跡（第4次）」を合本で作成（手元にある4冊の資料参照）

## (2) 平成26年度事業計画について

### 【平成26年度事業計画】

- ・ 1 埋蔵文化財の確認調査（試掘）
- ・ 2 本発掘調査（随時実施）
- ・ 3 新倉ふるさと民家園管理運営（業務委託）
- ・ 4 和光市デジタルミュージアム管理運営。（新資料等の更新・公開を随時続実施）
- ・ 5 文化財パトロールを随時実施。
- ・ 6 「和光デジタルミュージアム紀要」創刊。（ウェブ上で概ね年1回程度予定）
- ・ 7 埋蔵文化財調査報告書作成。（公費で発掘を行った発掘調査報告書を作成）

### ○意見、質疑応答等

委員長より意見を求めるが、特になし。

## (3) その他

[鈴木敏弘委員からの提案事項について]

### ○事務局

本日、都合により欠席されている鈴木敏弘委員より、午王山遺跡出土遺物と白子出土の古銭群の文化財指定について、意見書を預かっているので代読する。「午王山遺跡の出土物群の中で特に学術的な意義の顕著な遺物を選別し、市指定文化財とすること、また40年以上前に出土した白子古銭群について、かなり分析されてきているが、保管状態と全体の解明が矛盾することになり、これらを文化財として指定するには、その扱いに問題点が多く、専門家の意見が重要。両件の指定については、市担当者の意見や見解を含め、今年度の課題として討議の上、協議をお願いしたい」とのご意見を提出いただいている。

○田中委員長 事務局としての考えはいかがか。

### ○事務局

午王山遺跡出土品について、市指定文化財を視野に入れ、正式な諮問を次回の文化財保護委員会の会議で、皆様に検討、諮問をさせていただき、市指定文化財の指定という流れで進みたいと考えている。

白子出土銭についても、昭和47年に出土したものですが、正式な報告書がないので、再整理が必要。市指定文化財とするかどうか、改めて再調査を実施して、再調査報告書を作成し、その資料の価値が確定してから指定の手続きをとるようにしたいと考えている。

## ○副島副委員長

鈴木委員の提案は、古銭の指定については、扱いに慎重を要するため（専門家の意見が重要とあるが）、現状での指定は出来ないという主旨か。扱い方まで検討したうえで指定するように持っていくということなのか。中岡氏がきっちり枚数や年代を調べて、相当熱意をこめて概要をまとめたとあるが、あの状態での保存、指定は出来ないということなのか、もっと検討したうえでないといけないということなのかそのあたりがわかれば伺いたい。

## ○事務局

鈴木委員の提案のため、ご本人に確認する必要があるが、保存状態、取扱方法に問題点が多く…というのは、枚数に矛盾があったりするので、再確認、再計測する必要があるということだろう。

また、扱いに問題点が多くというのは、縋し紐を通したまま保管されているものが一部劣化しているのがあり、その取扱いについて、専門家の意見が必要なのかなというご意見なのではないかと推測する。当時は2万枚位が紐に綴ったまま保存しているだけなので、それを改めて分析するのか保存するのか、そのあたりについての意見が必要なのではないかとご意見だと思われる。

[デジタルミュージアム紀要の関係について]

## ○事務局

デジタルミュージアムは既に公開しておりますが、飽きられてしまわないように、最低、月2回の更新を目標にして、新しい情報を提供していきたい。今年度の目玉として、「紀要」を作成してデジタル公開していきたいと考えている。市史刊行以来、研究成果の蓄積がむずかしい中で、紀要を地域の記録を残すツールとしたい。今回考えているのは、電子ジャーナル的なインターネット上での公開のみで、印刷物での公開は考えていない。主に担当職員の研究成果、地域住民の座談会、開催記念講演会の講演録等を記録して残していきたい。刊行は年1回を予定している。

[午王山遺跡の保存・活用について]

「午王山遺跡」を文化財の史跡に指定していただいて、今後の活用について、市としての方針を定めていく必要があり、平成27年度計画を策定するのにあたり、有識者による懇話会という形を含め、保存活用を検討していただくことを考えている。文化財保護委員の皆様にもお含みおきいただきたいと思うのでご了承をいただきたい。

## ○関口委員

- (1) 「紀要」のPDF化について、テキストのキーワード化に対応しているのかどうか。ユーザーが、何か引出したい時、検索が可能なのかどうか。
- (2) デジタルミュージアムのマルチメディアの要素についてはどうか。

清水かつらの作詞した楽曲を戦前に歌手のシャーリーテンプルが日本語で歌った「雀の学校」等のSPレコードを入手した。歴史的な音源を加えることなど

テキスト・コンテンツ以外の音源もデジタルミュージアム上にアップ出来ないか。

#### ○事務局

- (1) これまでデジタルミュージアムで公開してきた和光市史等のPDFのデータは、キーワード化検索には対応していない。紀要はアドビのインデザインというソフトを使用して編集する予定。それをPDF化する際に検索機能に対応できると考える。
- (2) 大変良いアイデアですが、音源については、著作権等の問題があるので、著作者の許諾や著作権料の問題が解決されなければ難しい。これらの問題が解決されれば、出来るのではないかと考えている。

#### ○森 委員

- (1) 「デジタルミュージアム紀要」は、座談会、文化講座、記念講演会等に参加出来ない人にとって良いことだと思う。座談会、記念講演会等については、講演された内容を生のまま載せてもらいたい。論文化する場合、時間もかかってしまう。
- (2) 「和光市デジタルミュージアム紀要」 執筆要綱8番で文体・体裁を決めているが、記録講演会・講座などの記録の場合は、口語体になってくるので8番の内容（例えば聞き取り調査の記録等）に含めて入れておいたほうが良いのではないか。

#### ○事務局

文体・形体について、あくまで原則を定めており、聞き取り調査等を文語体の例外として例示している。座談会・記念講演会等の内容についても話し言葉で載せることにしたほうがわかりやすいと思うので、修正をして森 委員ご指摘のようにしたい。

#### ※ 各委員の活動について報告

##### ○副島副委員長

新倉氷川神社北側斜面にあった庚申塔が新倉ふるさと民家園に移設された。説明文を作り横に立てるようにしてある。ご覧になっていただければと思う。民家園で古記録を読む会で、江戸時代の「遊歴雑記」の中の版刻文字を読み解いている。古記録に出てくる風習が、白子の熊野神社でも行っていたことを参加者の中で知っている方がいた。

##### ○富岡委員

茅葺屋根の家を解体する時にいくつかお出ししたが、物置の中を片付けていたところ、小引出しの付いている物入れが見つかった。引出しの側面に、寛政10

年と墨で書かれていて、また歌舞伎役者のような絵の入っている小物入れのほか何点かあるので、市役所で引き取ってもらえるのかどうか相談させてもらいたい。

○後藤委員

和光郵便局脇の鈴木邸のお稲荷さんにある「歌碑」が倒れていたが、立て直してあった。その際、石碑の下の文字の一部が埋もれてしまっている。以前、拓本を採取してあり、読み解くことが出来るので、文書研究会では以前難解でわからなかったが、8月から取り組むことになっている。

○矢崎委員

白子小学校が今年10月17日で開校140周年を迎え、記念式典等行事を予定している。以前、校内に資料室を設けたが、資料等が散逸しているようなので、式典に合わせて、教育関係のことや地域のことを展示してもらいたいという要望もあるので、再度、展示する中味について、検討していきたいと考えているので、何かありましたら、お教えいただければありがたい。

○関口委員

商工会青年部との協働事業で実施している「わこうっちかるた」の読み句が決まり、絵札を募集中のようなので、完成の際には、デジタルミュージアム等のウェブで見られるようになれば良いのではないかと思う。

○小田部委員

一昨年おおいちょうの剪定をしたが、剪定について議会でも質問があった。剪定が強すぎたかもしれないが、その後の風や雪のこと、先日の台風のこと等を考えると災い転じて良かったのかなと思っている。  
午王山へ行く道の途中の左手の土地に新しい家が建っていて、斜面にある大きい木が伐採されていて、段々斜面が減ってしまっているのを残念に思う。

○森 委員

和光市のデータベースについては、私が担当している明治大学の情報メディアの授業の学生に見るように言っている。収納資料データベースの名前が硬い感じがするので、文化財の画像とリストというような一般にわかりやすいような砕けた表現のほうが見ていただけるのではないかと思う。

○田中委員長

清水かつらと子供の頃遊んだという知人から、清水かつらからもらった年賀状があるので、持っていかないかと言われた。今回、会合があるので、教育委員会には報告しておくので、詳しいことは相談するように伝えておいた。

○事務局から報告

- ・平成26年度第2回文化財保護委員会の開催日時は、開催予定が近づいた時点で連絡することを伝える。

○副島副委員長あいさつ

- ・白子囃子の保存会の方たちが、市内各所に連絡所を設けるということで、看板設置している。今後も、民俗的な行事を残していかないといけないと思う。

5 閉会・